

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

大森・選択専攻科目

総合診療内科（2～9ヶ月）

1 目的と特徴GIO

特定の臓器に偏った診療でなく、プライマリ・ケア、全人的医療を実践する能力を備えた医師の養成を目的とする。そのために必要である基本的な診察能力（態度、技能、知識）を習得することをGIOとする。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医学部総合診療科のスタッフ会議にて、本プログラムの管理運営を行う。必要に応じて研修協力病院の指導責任者の参加も求める。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は2～9ヶ月である。東邦大学医療センター大森病院総合診療科病棟に配置され、それぞれ外来診療、入院診療に関与する。

3-2 到達目標

3-2-1 行動目標

- 1) 患者の症状を理解し、適切な身体診察を行うことができる。
- 2) 状況に応じた、適切な検査を選択施行することができる。
- 3) 鑑別診断と重症度の評価を行うことができる。
- 4) 初期治療を的確に行うことができる。

3-2-2 経験目標

3-2-2-A 経験すべき診察法、手技

- 1) 問診にて各疾患の可能性を考えることができる。
- 2) 身体診察にて所見の的確な把握と記載ができる。
- 3) 初期診療における血液尿検査、胸部・腹部レントゲン検査、心電図検査の所見をそれぞれ評価できる。
- 4) 注射法（皮内、皮下、筋肉、末梢静脈、中心静脈、動脈）を実施できる。
- 5) 気道確保、人工呼吸、心マッサージを実施できる。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 腹痛
- 2) 頭痛
- 3) めまい
- 4) 胸痛
- 5) 発熱
- 6) 不明熱
- 7) 体重減少
- 8) 体重増加
- 9) 意識障害
- 10) 失神
- 11) 腰痛
- 12) 全身倦怠感
- 13) 食欲（思）不振
- 14) リンパ節腫脹
- 15) 呼吸困難
- 16) 咳・痰
- 17) 歩行困難
- 18) 便通異常
- 19) 四肢のしびれ
- 20) 悪心・嘔吐
- 21) 浮腫

3-2-2-C 特定医療現場の経験

- 1) 救急医療の現場を経験する。
バイタルサインの把握ができる。
重症度および緊急度の把握ができる。
ショックの診断と治療ができる。
二次救命処置ができる。

3-2-3 評価基準

総合診療における適切な基本的診察能力（態度、技能、知識）が習得されたかを基準として評価する。

3-3 勤務時間

原則として東邦大学医療センター大森病院の規程に従う。

3-4 教育行事

1. 総回診：毎週月曜日午後4時から。担当医として症例の説明を行う。
2. 症例検討会：毎週月曜日午後6時から。主に研修医が文献的考察を加えた担当症例の報告を行う。
3. 勉強会：毎週月曜日症例検討会終了後。

4. 抄読会：毎週月曜日午後 6 時から。
5. 講演会：年に数回外来講師を招いて行う。
6. 研修医症例発表会

3-5 指導体制

本プログラムの最終的な責任指導は基幹病院である東邦大学医療センター大森病院総合診療内科の指導責任者にある。研修医はそれぞれの診療チームに配属され、チーム長の指導の下でチームの一員として指導を受ける。

4 研修医個別評価

プログラム修了時に、各診療チームメンバーの評価表を参考に、指導医が総合評価する。各種教育行事への出席状況、研修医症例発表会での発表回数、内容も評価の対象となる。